

製品名: FOXD3 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80915**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	48kDa

抗原情報

遺伝子名	FOXD3
別名	AIS1; HFH2; Genesis; FOXD3
遺伝子 ID	27022.0
SwissProt ID	Q9UJU5
免疫原	大腸菌で発現したヒト FOXD3 の精製された組み換え断片。

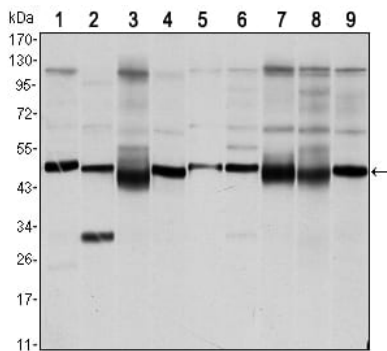
背景

FoxD3 はフォークヘッドボックスファミリーのメンバーであり、翼状らせん DNA 結合構造とそれが胚発生で果たす重要な役割を特徴とする。この転写制御因子は、マウス胚発生の着床前および着床周辺段階で多能性の維持に必要であり、栄養膜形成にも必要である。

る。FoxD3は哺乳類の神経堤の維持に必要であり、FoxD3(-/-)マウス胚は着床の頃に神経堤由来の構造を失い、機能不全に陥る。FoxD3はまた、Oct-4およびNANOGとともに制御ネットワークを形成し、ES細胞の多能性を維持する。神経管前駆細胞から神経堤細胞の発生を促進する。介在ニューロンの分化を抑制しながら、神経前駆細胞を神経堤系統に制限する。胚発生の着床前段階および着床周期段階における多能性細胞の維持に必要。組織特異性: 慢性骨髄性白血病、Jurkat T細胞白血病、奇形癌細胞株で発現しているが、調べた他の細胞株や正常組織では発現していない。

研究分野

画像データ



FOXD3 マウス mAb を用いた NTERA-1 (1)HHUVE-12 (2)、HEK293 (3)、Hela (4)、Jurkat (5)、NIH/3T3 (6)、K562 (7)、RAW264.7 (8)および COS7 (9)細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。